



アイヌの若者に恋した少女

手児のよひ坂

てこ 手児のよひ坂は元吉原今井の東と
はらだせいがんじ 原田清岩寺前という説があつて場所は定かではありません。

いずれにしても万葉の昔、旅人が遠くに残した妻や恋人を想って足を止め、積りつもったせつなさが、いつかこんな物語となって残りました。



原田にある清岩寺山門

むかし、元吉原の海べに美しい娘がいました。愛鷹山の向こうにはアイヌの若者が住んでいました。

ある時、海べでふと出会った二人は、たちまち恋をし愛しあう仲となりました。

夜ごとアイヌの若者は愛鷹山を越え、浮島沼を渡つて遠い道のりを娘に逢うためにやってきました。娘も胸ときめかせて毎晩、村はずれの坂の下まで若者を出迎えに行きました。坂のふもとの二人の逢瀬がすぎていました。

しかし、そんな二人の幸せは長くは続きませんでした。いつしか村人



たちに知れ渡り、ねたみ、妨害するがあらわれるようになつたのです。

水面に響く娘のよび声

アイヌの若者は、どんなにじやまをされても娘恋しさに通いましたが、じやまをする者がだんだん増えて、娘にあえなくなつてしまつたのです。

娘は毎晩、坂の下にたたずんで、いつまでも若者を待ち続けました。

まったく姿を見せなくなつた若者恋しさに、娘のせつなく悲しい声だけが、浮島沼の水面にいつまでも流れていったということです。



アルミ缶の原料である、ポーキサイト（鉱石）は、100%輸入です。

しかも、アルミ缶は「電気の缶詰」といわれるようエネルギー（電気）をたくさん使用します。

ところが、アルミ缶を資源として生まれかわらせると、27分の1ですむといわれています。

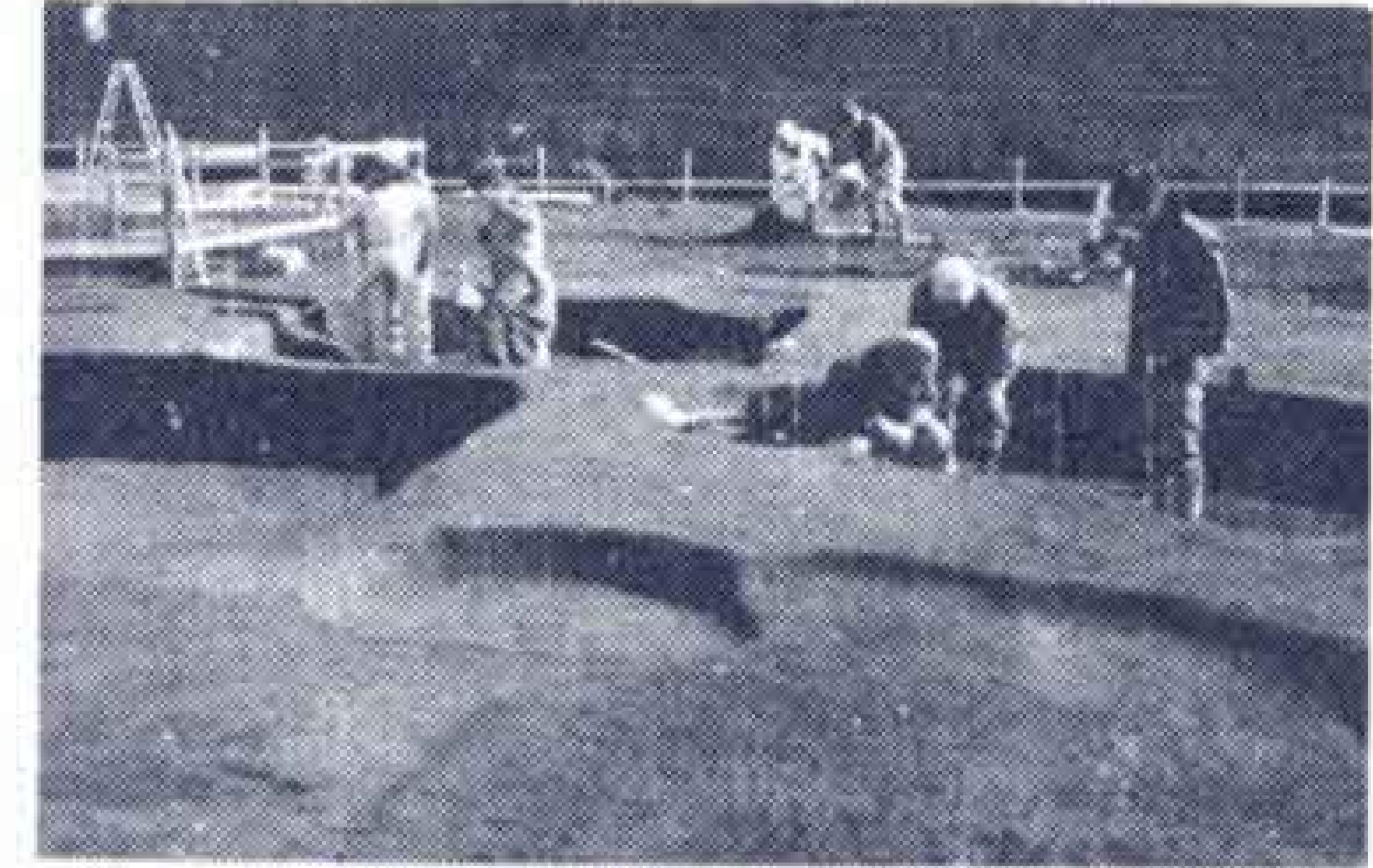
いいかえれば、エネルギーが96%節約できるわけです。

—進めよう ごみの減量・資源化—

市立博物館

展示物紹介

ひがしだいら 東平遺跡

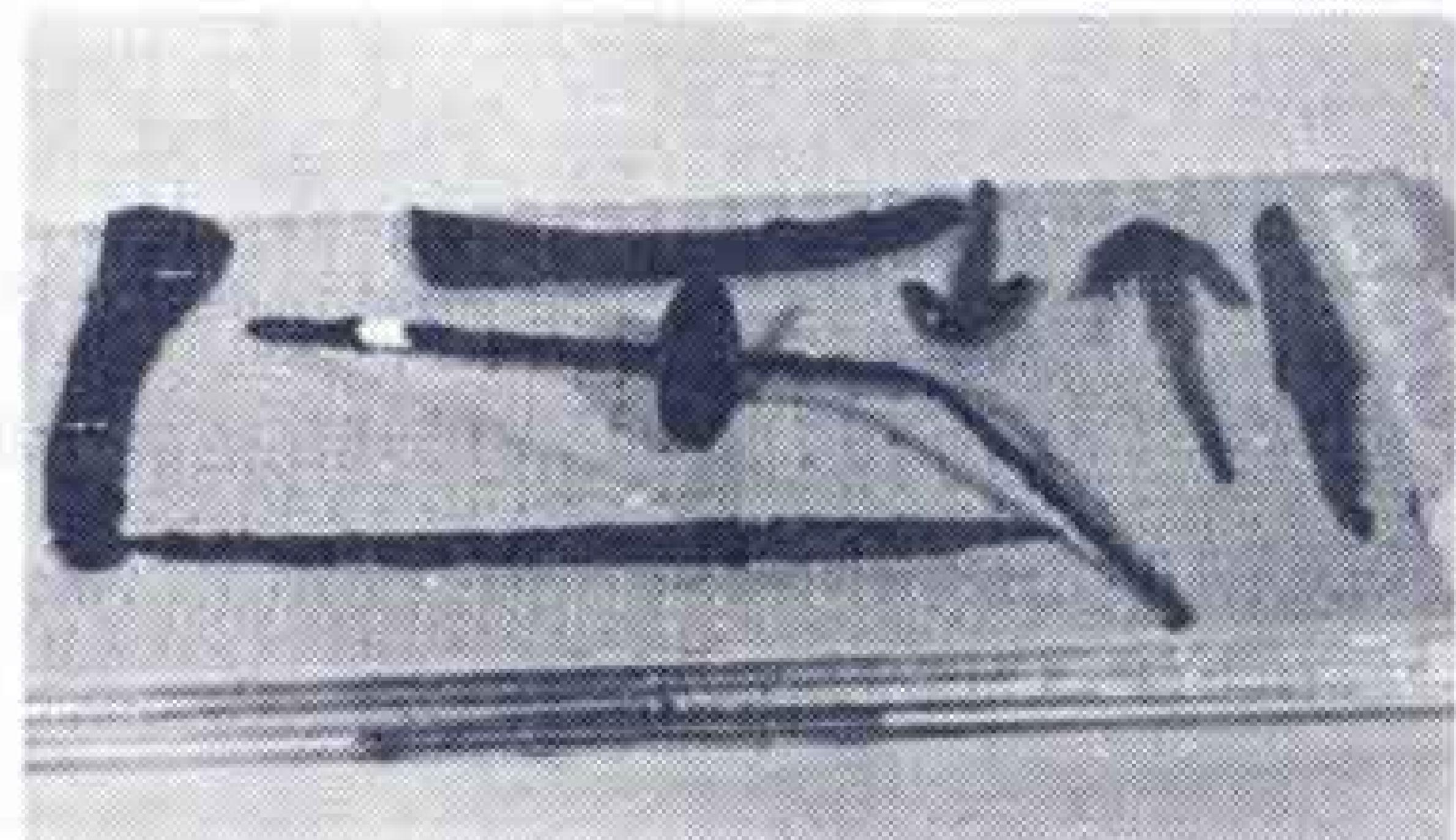


東名富士インター付近にある東平遺跡の発掘風景

わが国は大化の革新(645年)以降中国にならつた律令(法律)を制定し、天皇を中心とした中央集権国家をめざして、政治のしくみを整えていきました。

大化の革新をさかに、現在の静岡県は、それまであった小国が統合され、遠近・駿河・伊豆の三国が成立しました。そして、駿河国は、富士郡など七つの郡に分けられました。

さらに、富士郡には七つの郷がおかれ、東平遺跡は、そうした郷の一つである「久武の郷」ではなかつたかと考えられています。



出土した鉄器類(約1,200年前)

ご期待ください。ただ今準備中市立博物館の企画展

仮称 富士市の沿岸漁業
4/23~5/30まで